

# 令和5年度 東京都立八王子西特別支援学校 学校経営計画

東京都教育施策大綱（令和3年3月）

「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育を目指して」

## 令和5年度の学校運営方針

- ① 令和4年度の成果の改善と発展（生き生きとした教育活動の提案）
- ② 個の能力の最大限の伸長（目標・内容・効果の明確化）
- ③ 人権を最大限に尊重し、安全・安心で思いやりのある学校づくり
- ④ 開かれた学校、障害児教育の発展に寄与する情報発信の推進
- ⑤ 効率的・組織的な学校運営と教職員のライフ・ワーク・バランスの推進
- ⑥ 子ども達のロールモデルとなる教職員集団

## 1 学校経営理念

- (1) 子ども達が、保護者が、都民が満足する教育の提供  
子ども達が、保護者が、都民が望む教育を実現する学校を創る。
- (2) 社会の中でたくましく生き抜く子どもの育成  
「心、身体、頭」を鍛え、新たな価値を創造し発揮する力を育む学校を創る。
- (3) 多様性を尊重し、積極的に社会的役割を果たす子どもの育成  
貢献、礼節、思いやり、生命尊重の気持ちを家庭、地域と連携して育む学校を創る。

## 2 目指す学校像 校訓 スローガン

- (1) 目指す学校像
  - ①夢の実現に向け、子ども達の命を守り、可能性を最大限に伸ばす学校
  - ②誇りと危機管理意識をもって、高い専門性のある教育を組織的に実現する学校
- (2) 校訓 「自律自啓」人から必要な支援を受けながら、自ら情熱をもって学ぶ児童・生徒の姿
- (3) スローガン 「夢と誇り、そして仲間」

### 3 中期的目標と方策 「夢と誇り、そして仲間」のスローガンのもと

#### たくましく生き抜き、多様性を尊重し、積極的に社会的役割を果たす児童・生徒の育成

(1) 児童・生徒個々の能力を伸ばし、豊かな心、健やかな体、確かな学力と社会で生きる力を育てる生き生きとした教育活動の展開

- ①「TOKYO ACTIVE PLAN for students」(令和4年3月策定)(総合的な子供の基礎体力向上方策(第4次推進計画))に基づく、発達、障害、体力の実態等に応じた身体能力や運動機能を向上させる取り組みの推進
- ②豊かな心を育む芸術・文化教育の充実
- ③児童・生徒の将来像を見据えた12年間の教育課程の提案
- ④働くための「態度」の育成を軸とした「4-4-4」の取組

(2) 知的障害・重度重複障害等の専門性向上と、多様な職種との連携・協力に基づく質の高い教育サービスの提供

- ①専門性向上研修等の計画的実施、組織的・効果的教育活動の展開
- ②根拠に基づいた個別指導計画の作成と、個に応じた教育の充実の推進
- ③授業、教材・教具、研修紹介等の積極的情報発信
- ④東京都教育ビジョン(第4次)(平成31年3月策定)及び「未来の東京」戦略(令和3年3月策定)等に基づくデジタル技術活用教育の推進

(3) 人権尊重と高い危機管理意識による安全・安心な教育環境整備

- ①服務事故防止研修等の計画的実施でいじめや体罰等根絶の環境整備
- ②避難訓練、事故防止研修及び環境チェックの計画的、定期的実施による危機管理意識向上と、安全配慮義務の徹底による事故0達成
- ③自殺対策基本法(平成18年法律第85号)及び自殺総合対策大綱(平成29年7月閣議決定)に基づく命や思いやりを大切にする心を育む教育の推進
- ④自尊感情や自己肯定感、礼節、貢献意識の向上に向けた活動推進

(4) 地域や多くの人との連携による「開かれた学校」の積極的推進と、特別支援教育のセンター的機能の一層の強化

- ①12年間を見通したキャリア教育に基づく進路指導の充実と、個々の願い、希望をかなえる地域生活の実現
- ②保護者・関係者と連携した副籍・学校間交流の計画的実施と、場面設定による積極的社会参加の推進
- ③自立と社会参加に向けた保護者や地域の学校、住民、関係機関等と連携・協力した児童・生徒の育成と、地域の知的障害教育の充実支援

(5) 教育活動の精選と効率化の組織的、計画的な実施、教職員の意識向上による効果的業務遂行、ライフ・ワーク・バランスの推進

- ①「学校における働き方改革推進プラン」(平成30年2月策定)に基づく、定時退庁等、ライフ・ワーク・バランス実現に向けた職場環境の整備
- ②コンプライアンス等研修の定期的実施による教職員の法令遵守及び社会貢献意識の向上
- ③経営企画室との密な連携による、計画的、効率的、効果的な予算の執行
- ④会議時間短縮や業務スリム化実施、男性教職員育休取得等の推進

(6) 通学区域変更、新規事業への対応

- ①令和6年度南多摩地区特別支援学校(仮称)に伴う通学区域変更による受け入れの準備と対応
- ②子ども未来アクション(校庭開放事業)への協力
- ③形態食の提供と医療的ケア実施に向けた体制整備

## 4 令和5年度の取組目標と方策

### 方策1 児童・生徒個々の能力を伸ばしながら、豊かな心、健やかな体、確かな学力と社会で生きる力を育てる生き生きとした教育活動の展開

- (1) 4-4-4 (4の区切りの実践) による「態度の育成」に向けた他学部参観(年2回以上)と「態度の指導内容表」を活用した各教科等を併せた指導の充実(通年)
- (2) 「くわのみ祭」充実、外部講師活用のダンス授業実施(通年)とダンス・フェスティバル実施(年1回)、昼の放送(通年)、読み聞かせ(年2回)、摂食・言語指導で表現能力向上指導充実
- (3) 安全・安心な宿泊行事実施プロジェクトによる宿泊・校外行事の確実な実施
- (4) ICTを活用した教育活動の充実(研究指定・授業づくり・通年、教材教具発表会)

### 方策2 知的障害・重度重複障害教育の専門性向上と、進路指導の充実、多様な職種との連携・協力に基づく質の高い教育サービスの提供

- (1) 外部・内部講師による専門性向上・進路指導研修(年30回以上)及び研究授業(年300回以上)実施
- (2) タブレット端末活用(通年)及び授業活用情報発信(年10回以上)
- (3) 言語機能アセスメント等による指導充実と八西専門性スタンダードの構築
- (4) 授業、教材・教具、研修紹介動画等の計画的配信(年30回以上)

### 方策3 人権尊重と高い危機管理意識による安全・安心な教育環境整備

- (1) 4級職活用の迅速な事故対応等危機管理体制の整備・SNS指導徹底(通年)と、いじめ防止、体罰防止研修(各年3回以上)、意識向上研修(年12回)実施、事故0達成(通年)
- (2) 防災訓練(避難訓練)(年12回)の計画的実施と、二次避難準備(年2回)、校舎内外の危険箇所整備と安全点検・環境整備、通学指導の徹底(通年)
- (3) 防災委員会(年2回)、学校サポートチーム(年2回)、心のケア指導(通年)実施
- (4) 都のガイドラインに基づく組織的で迅速・効果的なコロナ感染症対応

### 方策4 地域や多くの人との連携のもと、「開かれた学校」の積極的推進と特別支援教育のセンター的機能の一層の強化

- (1) キャリア教育に基づく個別指導計画の作成(年2回)、進路指導(通年)
- (2) 副籍交流(通年)、学校間交流(年6回以上)の計画的実施
- (3) 出前授業等理解推進プランの実施(新規年間30回以上)
- (4) 学校説明会(年3回)、学校公開(年2回)、学校日記(年間200回以上)、授業の様子HP紹介(各部年2回以上)
- (5) 地域連携促進PJの新設による地域連携充実

### 方策5 教職員の意識向上による効果的業務遂行、人材育成、ライフワーク・バランスの推進

- (1) 電子掲示板、メール等を活用した連絡体制整備と、迅速で組織的な課題解決体制の確立(通年)
- (2) 自己申告の活用(年3回)及び意識向上研修の実施(年12回)、人材活用のプロジェクト充実による管理職候補・主幹・主任育成
- (3) 定時退庁推進日(月1回)の設定と業務分担徹底、超過勤務の上限設定(月45時間年360時間以内)、メンタルヘルス研修の実施(年2回)により働きやすい職場づくり徹底

### 方策6 通学区域変更、新規事業への対応

- (1) 通学区域変更児童との交流教育実施(1回以上)、関係諸機関との連携
- (2) 子ども未来アクション(校庭開放事業)への協力(八王子市通年)
- (3) 摂食評価による形態食必要児童・生徒確認と指導準備(通年)、医療的ケア体制整備(通年)